# EXFO 社製 MAX-7xxC シリーズ クイックガイド (iOLM 編)

【第2版】



本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。

本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱説明 ・ 書の補助手段としてご使用ください。

た険ですので本体のコネクタポートを直接のぞかないで下さい。
レーザー光が発信されますので、目に損傷を与える恐れがあります。

MAX-720C のポートは APC 研磨コネクタ専用になっております。 APC 研磨以外のコネクタの挿入はポート破損の原因になります。

## 目 次

1.	MAX-7xxC 概要	2
2.	本体の起動とモジュール(アプリケーション)の起動	3
2.1	1. 本体の起動	3
2.2	2. モジュール(アプリケーション)の起動	4
3.	OTDR の測定開始(iOLM ソフトウェア)	5
4.	OTDR 設定① 試験タイプ選択	6
5.	OTDR 設定② 試験タイプ追加と削除	7
5.1	1. リンク定義画面(回線の構成を設定する画面)	9
5.2	2. iOLM 合否時判定しきい値画面(回線全体のしきい値を設定する画面)	10
5.3	3. iOLM 合否判定しきい値画面(障害点しきい値を設定する画面)	11
6.	測定結果の表示	12
7.	画面説明	14
8.	データ保存とレポート作成	16
9.	光源機能(モジュール)	18
10.	データの取り出し	19
10	.1.Data Mover	19
10	.2.File Manager	23
11.	仕様	25

## 1. MAX-7xxC 概要



#### ※ 測定ポートについて

空き線用ポートとなります。波長は、1310nm, 1550nm が選択でき、現用回線では使用不可。

#### ※ 注意点

iOLMはコネクタ部分での反射を抑制し、正しい測定データを得るためにAPC研磨のコネクタが採用されております。UPC研磨コネクタの光ファイバコードを挿入しないでください。機器が損傷する恐れがあります。

#### ※ **注意点**

マルチモード(MM)OTDR ポートは、UPC 研磨コネクタの光ファイバコードを使用します。



# 2. 本体の起動とモジュール(アプリケーション)の起動

## 2.1. 本体の起動

MAX-7xxCの電源を入れるとWindowsが起動してホーム画面が表示されます。

※ タッチパネル操作にはモジュール上部に収納されております、タッチペンを使用すると便利です。指での操作も可能です。



ホーム画面

※ ホーム画面は測定器の型番により異なります。

## 2.2. モジュール(アプリケーション)の起動

ホーム画面が立ち上がった後、『iOLM』アイコンをクリックします。iOLM のアプリケーションが起動してメイン画面が表示されます。



# 3. OTDR の測定開始(iOLM ソフトウェア)

iOLM には、光源、iOLM (パルス試験)の2つの機能があります。

iOLM メイン画面の上部の各対応するタブから選択できます。(他 3 つのタブは、試験結果時に使用します。)

光源 iOLM ノンクビュー エレ	メント 測定情報		iOLM
<del>ファイトサイプ/ポート</del> 波長 テストフ	711		開始
OS1 シングルモード ▼ = ラ:	/チファイパ:	0.0 m	
1310 nm	-プファイパ :	0.0 m	<b>P</b>
🗱 1550 nm	シーブファイバ:	0.0 m	聞く 保存 レポー
		校正	メインメニュー ファイル ▶
			ID
			テスト構成
※OTDR 波形モード	へ移行します。		ユーザの設定
(波形モードの使いた	「は別のマニュノ	/ルをご参照下さい。 <del>}ー</del>	OTDRを起動
Point to Point		次のファイル名: Fi	iber.iolm 🕑 🕑 🕑

実際の測定の前に P.6~P.10 に記載しております「OTDR 各種設定」をあらかじめ行なって下さい。 測定は① 測定ポート選択/確認、② 測定波長選択、③ スタートを押す。を行うとテストが開始されます。

光源 iOLM リンクビュー エレメント 情報		iolm 🖄
ポート/ファイバ/波長 1 テストファイパ SM/9 μm ランチファイパ:	0.5000 km	開始
□ 1310 nm □ レシーブファイバ: 🗙 1550 nm	0.5000 km	■ 展く 保存 構成
2	测定	ファイル ▶ ユーザの設定
		 テスト構成 ▶  OTDRを起動
DefaultSetup	次のファイル名: 1_1550.iolm	00

測定ポート選択:測定ポートが『OS1 シングルモード』が選択されていることを確認します。
 ※ 活線/マルチモード測定の場合は、対応するポートを選択します。

- ② 測定波長選択: 測定波長を選択できます。(シングルモード:1310nm, 1550nm)
- ③ 開始ボタン: 開始ボタンを押すと測定が開始されます

※測定結果については P.11~12 をご参照下さい。

# 4. OTDR 設定① 試験タイプ選択

試験環境に合わせて、被測定回線の構成を選択します。

1. 『テスト構成』をクリックして下さい。

光源 <mark>IOLM</mark> リンク	フビュー エレメント 測定情報		iOLM
ファイバタイプ/ポート/波長	テストファイパ		間傍
OS1 シングルモード	<ul> <li>ランチファイパ:</li> </ul>	0.0 m	
🔀 1310 nm	ループファイパ:	0.0 m 🤗	- I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
🗶 1550 nm	レシープファイバ:	0.0 m	
		校正	メインメニュー ファイル ト
			ID
			テスト構成
			ユーザの設定
			OTDRを起動
Point to Point		次のファイル名	: Fiber.iolm 🕘 🙆

- テスト構成の選択画面が表示されます。
   この画面では測定を行う回線の構成に沿った試験タイプを選ぶことができ、正しく設定を行うことで、より正確な試験を行うことができます。また、複製/修正/削除/インポート/エクスポートも行えます。
- 使用する設定を選択し、『閉じる』をクリックすると設定完了です。
   (※以下では、上部側から8分岐、4分岐のスプリッタが一つずつある構成の線路を測定する場合の試験タイプを選択しております。スプリッタがない構成の場合は、Point to Pointを選択します。)

		次の測定			
) * Point to Point ) コネクタ 2 個, カスタムのき	音判定し <mark>きい</mark> 値				~
* PON 1 Splitters 1x32 コネクタ 2 個, スプリッタ	L 個, カスタムの合	否判定しきい値			
* PON 2 Splitters 1x4 1x コネクタ2 個, スプリッタン	8 21回,カスタムの台	音判定しきい値			
* PON 2 Splitters 1x8 1x コネクタ 2 個, スプリッタ:	8 2 個, カスタムの合				
* PON 2 Splitters Unkno	wn				
※上部側から 一つずつ入って 3つ目のスプリ	8 分岐(1 こいることを しッタはない	:8)、4 分 示していま ので"Non	岐(1:4 す。 e"と表示	)のスプリッタ こされています	が
∕ <b>≒</b> ⇔≠æj≈æ≈æ	複製	修正	削除	インポート	エクスポート
	the second se		and the second se		

# 5. OTDR 設定② 試験タイプ追加と削除

任意で被測定回線の試験タイプを追加と削除、変更が可能です。

1. 『テスト構成』をクリックして下さい。

光源 iOLM リンクt	ビュー エレメント 測定情報		iOLM
ファイバタイプ/ポート/波長	テストファイパ		8346
OS1 シングルモード ▼	ランチファイパ:	0.0 m	
🗙 1310 nm	ループファイパ:	0.0 m 🧧	
🗶 1550 nm	レシーブファイパ:	0.0 m	開く 保存 レポー
		校正	メインメニュー
			m
			10
			テスト構成
			ユーザの設定
			OTDRを起動
Point to Point		次のファイル名	: Fiber.iolm 💿 💿

2. テスト構成の設定画面が表示されます。

		次の測定			
○ * Point to Point □ ネクタ 2 個, カスタムの	合否判定しきい <mark>値</mark>				^
* PON 1 Splitters 1x32 コネクタ 2 個, スプリッタ	1個,カスタムの1	合否判定しきい値			
* PON 2 Splitters 1x4 1 コネクタ 2 個, スプリッタ	x8 2個, カスタムの1	合否判定しきい値			•
* PON 2 Splitters 1x8 1 コネクタ 2 個, スプリッタ	x8 2 個, カスタムの1	合否判定しきい値			
* PON 2 Splitters Unknow コネクタ 2 個, スプリッタ	own 2個,カスタムの;	合否判定しきい値			
* PON 2 Splitters Unknow コネクタ2個,スプリッタ	own Ratio 2個, カスタムのt	合否判定しきい値			
→ * Short Link Close Even Short Link Close Events, ⊐	ts ネクタ 2 個, カス・	タムの合否判定しま	きい値		
○ * テスト構成 □ ネクタ2個, カスタムの	合否判定しきい値				~
	複製	修正	削除	インポート	エクスポート

- 3. 変更等を加えたい試験タイプを選択して下さい。
- 4. 次に、行いたい操作を下から選択し、クリックして下さい。

#### [試験タイプのコピー追加、変更、削除]



2

修正...

の選択をクリックすると詳細な設定画面が開きます。

スプリッタ比のステージ 1 : スプリッタ比のステージ 2 : スプリッタ比のステージ 3 : iOLM #2 ファイパプロパティ 850 nm	1:8 • 1:4 • なし • #1	指定なし 動的ロスパジェットの算出 接続: スプライス:	
スプリッち比のステージ 2 : スプリッち比のステージ 3 : iOLM #2 ファイパプロパティ 850 nm	1:4 ・ なし ・ #1	動的ロスパジェットの算出 接続: スプライス:	
スプリッタ比のステージ 3 : iOLM #2 ファイパプロパティ 850 nm	なし ・ #1	ചn日スハシェットの異工 接続: スプライス:	
iOLM #2	#1	接続: スプライス:	
ファイパプロパティ 850 nm	1:50 nm	スプライス:	
	1550 1111	エレメント検出	
コアサイズ 62.5	μm 9 μm	マクロベンド (dB):	0.50
屈折率 1.4960	000 1.468325		
发方散乱 (dB) -63.	-81.87	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	エレメントを編集
(後方散乱 (dB) -63.	-81.87	カスタム 工場出	エレメントを編集。

1. 画面上部のタブより、リンク定義、iOLM 合否判定のしきい値の 2 つの設定画面を開くことができます。ここで、設定したしきい値に応じて、合否判定結果が表示されます。

左のタブから

- リンク定義: 回線の構成
- iOLM 合否判定しきい値:回線全体のしきい値、障害点しきい値
- 2. 画面下部の「屈折率」では群屈折率の設定を、「後方散乱(dB)」では後方散乱係数の設定を入力することができます。

※ SM 場合は、コアサイズは固定値の為、変更できません。 MM 場合は、コアサイズを変更できます。

## 5.1. リンク定義画面(回線の構成を設定する画面)

フロメティ     リンク定義     OLM各名判定しまいを       スプリッタ比のステージ 2:     1:4     アイバタイプ       スプリッタ比のステージ 2:     1:4     回的ロスパジェットの算出       スプリック比のステージ 3:     1:2     1:8       IM     #2     1:4     IM       IM     #2     IM     IM       IM     #2     IM     IM       IM     #2     IM     IM       IM     #2     IM     IM       IM     IM     IM<	テスト傅成 - PON 2 Split						
スプリッタ 2:N     ファイバタイプ       スプリッタ比のステージ 2:     1:4       スプリック比のステージ 3:     1:2       IOLM     #2       IOL     IOL       IOL     IOL       IOL     IOL       IOL     IOL       IOL     #2       IO	プロパティ リンク定	<sub>義</sub> iOLM合否判定しき(	い値				
スプリッタ比のステージ1:       1:9       構定なし         スプリッタ比のステージ2:       1:4       新的ロスパジェットの算出         スプリック比のステージ3:       1:2         IOLM #2       1:8         III       1:8         IIII       1:8         IIIII       1:8         IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	スプリッタ	2:N		77	イパタイプ		
スプリッタ比のステージ2:     1.4     *       スプリック比のステージ3:     1:2       IOLM #2     1:4       IOLM #2     1:8       1:16     1:12       IOLM 10     1:12       IOLM 110     1:12       IOLM 1128     1:12       IIII IIII     1:12       IIIII IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	スプリッタ比のステ-	-ジ1:	1:8 👻	」指え	目なし		
スプリッタ比のステージ3:       1:2         0LM       #2         112       提標:         スプリイズロバティ(850 nm       1:55         1:16       1:32         1:17       1:6         1:18       1:16         ロフケイズ       62.5 µm         塩方敷乱(dB)       -63.10         1:12       アロバティ(850 nm         塩方敷乱(dB)       -63.10         1:12       アロバティ(16):         マロベンド(dB):       工場出商時の設定に買す         0K       キャン         アロバティ       1:8         スプリッタ比のステージ1:       1:8         スプリッタ比のステージ2:       1:4         第       1:2         第       1:8         アイバブロバティ(850 nm       1:50 nm         ロレ       第         112       第         アマイバブロバティ(850 nm       1550 nm         ロレ       112         第       112         第       113         第       112         113       1:10         アンクステレンド       1:8         スプリック定義       0LM 合き         アンクステレン       1:8         アン       1:12         第       1:12	スプリッタ比のステ-	ージ 2:	1:4 🔽	<b>_</b>	ロフィジェットの質	ш	
OLM       #2       14         18       118         116       1.12         116       1.12         117       1.164         117       1.128         11128       1.128         11128       1.128         11128       1.128         11128       1.128         11128       1.128         11128       1.128         11128       1.128         11128       1.128         11128       1.1128         11128       1.1128         11128       1.1128         11128       1.1128         11128       1.1128         11128       1.1128         11128       1.1128         11128       1.1128         11128       1.1128         1127       1.1128         1128       1.1128         1127       1.118         1128       1.118         1131       1.118         114       1.118         114       1.118         114       1.118         114       1.118         1155       1.118         114 </td <td>スプリッタ比のステー</td> <td>-ジ3:</td> <td>1:2</td> <td>920 0 3</td> <td>ロスハシェットの昇</td> <td>4</td> <td>Г</td>	スプリッタ比のステー	-ジ3:	1:2	920 0 3	ロスハシェットの昇	4	Г
14     1:8       170     132       170     132       170     132       170     132       170     132       170     132       170     132       170     132       170     132       171     132       172     132       172     132       172     132       172     132       172     132       172     132       172     132       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       172     12       173     18       174     18       174     18       174     18       174     18       174     18       180     14       180     14       180     14       174     14       18     14	iOLM	#2	1:4	接続	•		L
ファイバブロバティ 850 nm       1:32         コアサイズ       62.5 µm         臨所率       1.496000         1:128       1:64         度方取乱(d8)       -63.10         1:7       5L         なし       工場出商時の設定に戻す         0K       キャン         アイバマイマイブ       1:8         マイバママ       リンク定差         0M台湾判定しまい値         スブリッタ       2:1         2ブイバタイブ       1:8         スブリッタ比のステージ1:       1:8         ハブリッタ比のステージ3:       なし         ジレ       第約ロスパジェットの算出         返付       第2         0LM       第2         第1       114         マブリッタ比のステージ3:       なし         ジレ       ジェ         0LM       第2         第1       118         マブリックに       114         マブリックに       第2         第1       118         マブリックに       1250 nm         コブサイズ       62.5 µm       9 µm         ログワイズ       62.5 µm       9 µm         ログワイズ       62.5 µm       9 µm         ログワイズ       62.5 µm       9 µm         ログロベンド(d8):       ロベンド(d8):       118 <td></td> <td>1:4</td> <td>1:8</td> <td>スプ</td> <td>'ライス:</td> <td></td> <td>L</td>		1:4	1:8	スプ	'ライス:		L
ファイバブロバティ 850 nm       155         コアサイズ       62.5 µm         臣折率       1.496000         1:128       カスタムエレメントを撮集         安し       万スタムエレメントを撮集         ケロペンド (dB):       カスタムエレメントを撮集         ケロペティ       リンク定義       OLM合否判定しまい値         スブリッタ       27イバタイブ       1:8         スブリッタ比のステージ1:       1:8       マ         スブリッタ比のステージ2:       1:4       マ         レ       113       1:8         マブリッタ比のステージ3:       マレ       第         レ       114       マ         レ       114       マ         レ       114       マ         アナイズマーク       1150 nm       エレメント検出         マクロベンド(dB):       エレメント検出       マクロベンド(dB):         ロレ       113       エレメント検出       マクロベンド(dB):         ロメント検出       マクロベンド(dB):       エキクロベンド(dB):       エキクロベンド(dB):         ロメント検出       アクロベンド(dB):       エキクロベンド(dB):       ロメント大と振集         エレメント検出       アクロベンド(dB):       エキロボントントを振集       エキロボントントントを振集			1:16				
ファイパブロパティ 850 nm     155       コアサイズ     62.5 µm       電折率     1.496000       1:128     1:128       次し     カスタムエレメントを編集       なし     工場出荷時の設定に戻す       0K     キャン       アスト構成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8     0K       ブロパティ     リンク定義     0LM合否判定しまい値       スブリッタ     2:N     ファイパタイブ       スブリッタ比のステージ 1:     1:8     1       スブリッタ比のステージ 2:     1:4     1       NUM     #2     #1       11     118     1       スブリッタ比のステージ 3:     なし     *       アド部     11/2     #1       118     118     エレメント検出       ファイパブロパティ     850 nm     1550 nm       コアサイズ     62.5 µm     9 µm       東市率     1.496000     1.468325       カスタムエレメントを編集     エレメント検出       マウロベンド (d8):     1/2       118     カスタムエレメントを編集       エレメント (d8):     カスタムエレメントを編集			1.32	-			
コアサイズ       62.5 µm       1.04       1         屋折率       1.496000       1:128       1         後方散乱 (dB)       -63.10       1:2       カスタムエレメントを撮集         なし       工場出荷時の設定に戻す         0K       キャン         7人 塔成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8         プロペティ       リンク定蓋         0LM合否判定しまい値         スブリッタ       2:N         スブリッタ比のステージ 1:       1:8         スブリッタ比のステージ 3:       なし         マレ       単加         ロレ       #2         #1       118         スブリッタ比のステージ 3:       なし         ロレ       #2         #1       118         アイパブロパティ       850 nm         コブライス       62.5 µm         クロ       1550 nm         コブライス       62.5 µm         アイバブロパティ       850 nm         コブライス       62.5 µm         アイバブロパティ       850 nm         コブライス       62.5 µm         クロペンド (dB):       ロペンド (dB):         コスタムエレメントを撮集       コスタムエレメントを撮集         オスタムエレメントを振興       エレメントを振興	ファイパプロパティ	350 nm 15	50 1.52	エレ	メント検出		
世行率       1.496000       1:128       1         後方散乱 (dB)       -63.10       1:2       カスタムエレメントを編集         なし       工場出荷時の設定に戻す         のK       キャン         マスパリッタ       2:N       ファイパタイプ         スプリッタ       2:N       ファイパタイプ         スプリッタ比のステージ1:       1:8       マ         スプリッタ比のステージ2:       1:4       マ         スプリッタ比のステージ3:       なし       期的ロスパジェットの算出         レー       1:8       マ         レー       1:4       マ         アウッタ比のステージ3:       なし       振続:         スプリッタ比のステージ3:       なし       レー         レー       1:4       マ         レー       1:50 nm       エレメント検出         マラマイパプロパティ 850 nm       1550 nm       エレメント検出         マクロベンド(dB):       ロベンド(dB):       1         工場出荷時の設定に戻す       エリスタムエレメントを編集       エリスタムエレメントを編集	コアサイズ	62.5 μm	1:64	n マクI	ロベンド (dB):		
(彼方歓乱 (dB)       -63.10       1:?       カスタムエレメントを編集         なし       工場出荷時の設定に戻す         なし       工場出荷時の設定に戻す         OK       キャン         テスト塔成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8       OK         ブロバティ       リンク定義       IOLA合否判定しまい値         スプリッタ       2:N       ファイバタイブ         スプリック比のステージ1:       1:8       マ         スプリック比のステージ2:       1:4       マ         スプリック比のステージ3:       なし       期的ロスパジェットの算出         び口パティ       1:4       マ         アウパンタたのステージ3:       なし       環続:         スプライス:       工事       「         「ご       1:4       マ         アウドウ ズ       62.5 µm       9 µm         ビデヤイズ       62.5 µm       9 µm         ビボギ       1.496000       1.468325         復方歓乱 (dB)       -63.10       -81.87         カスタムエレメントを編集       工場出荷時の設定に戻す	屈折率	1.496000	1:128	5			
なし     工場出荷時の設定に戻す       OK     キャン       フロパティ     リンク定義       プロパティ     リンク定義       プロパティ     リンク定義       パリッタ     2:N       スプリッタ比のステージ1:     1:8       スプリッタ比のステージ2:     1:4       スプリッタ比のステージ3:     なし       レ     一       114     一       カロスパジェットの算出     選続:       スプリッタ比のステージ3:     なし       レ     一       ロレ     #2       114     一       カロスパジェットの算出       変統:     スプライス:       ビ     114       ロレ     #2       第     1.496000       1.496000     1.468325       カスタムエレメントを編集     エモメントを編集       工場出荷時の設定に戻す     1.50 nm	後方數乱 (dB)	-63.10	1:?		7	カスタムエレメン	トを編集
工場出荷時の設定に戻す       工場出荷時の設定に戻す       OK キャン       マスト構成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8       フロパティ リンク定義 IOLM合否判定しきい値       スプリッタ 2:N       スプリッタ比のステージ 1:       スプリッタ比のステージ 2:       スプリッタ比のステージ 2:       スプリッタ比のステージ 2:       スプリッタ比のステージ 3:       レー       取用       (DLM       第二       ロー       エー       エレント検出       ママイパプロパティ 850 nm       エレント検出       マワイパライズ       ロペンド(dB):       工場出商時の設定に戻す       工場出商時の設定に戻す			なし				
OK       キャン         テスト構成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8 <ul> <li>プロパティ リンク定義 OLM合否判定しまい値</li> <li>スプリッタ比のステージ 1:</li> <li>1:8&lt;</li> <li>スプリッタ比のステージ 2:</li> <li>1:4</li> <li>新的ロスパジェットの算出</li> <li>波信:</li> <li>スプリッタ比のステージ 3:</li> <li>なし</li> <li>第</li> <li>第</li> </ul> アビック定義 OLM合否判定しまい値         ファイパタイブ           スプリッタ比のステージ 2:         1:4           スプリッタ比のステージ 3:         なし           レットの算出         接続:           スプリック比のステージ 3:         なし           IOLM         #2           #1         1:3           アビー         第           レー         技術:           スプライス?:         上部           ビー         第           レー         第           ロー         第           エレメント検出         マクロペンド (dB):           工場出商時の設定に見ず         カスタムエレメントを編集					1	工場出荷時の設	定に戻す
UK     サイン       テスト構成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8       プロパティ リンク定義 IOLM合否判定しきい値       スプリッタ たのステージ 1:     1:8     ファイパタイプ       スプリッタ比のステージ 2:     1:4     加的ロスパジェットの算出       スプリッタ比のステージ 3:     なレ     第約       アビア 11:     1:8     エンパジェットの算出       レビア 11:     1:3     エンジェットの算出       レビア 11:     1:3     エンジェットの算出       アビア 11:     1:3     エンジェットの算出       アビア 11:     1:3     エンジェットの算出       アン 11:     1:50 nm     エンジェット検出       コア フィバ・プロパティ 850 nm     1550 nm     エレメント検出       ロバッ 1:     1:4     9 µm       ロバッ 1:     1:40000     1:468325       後方敷乱 (dB)     -63:10     -81:87       エ場出荷時の設定に戻す     エ							10 - 01
スプリッタ比のステージ1:     1:8     指定なし       スプリッタ比のステージ2:     1:4     動的ロスパジェットの算出       スプリッタ比のステージ3:     なし     一       IOLM     #2     #1       1:8     第       IOLM     #2     #1       1:8     第       IOLM     #2       1:4     #1       1:8     IE       IOLM     #2       1:4     #1       1:8     IE       IOLM     #2       1:4     #1       1:8     IE       III     IIII       IIII     IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	テスト構成 - PON 2 Split	ters 1x4 1x8				ОК	++>
スプリッタ比のステージ2:     1:4     動的ロスパジェットの算出       スプリッタ比のステージ3:     なし     描記       IOLM     #2     #1       1:4     第     接続:       スプライス:     二       アゴパティ 850 nm     1550 nm       コアサイズ     62.5 µm     9 µm       屋折率     1.496000     1.468325       後方散乱(dB)     -63.10     -81.87	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ	ters 1x4 1x8 義 IOLM合否判定しき 2*N	い値	77	11/517	ОК	キャン
スプリッタ比のステージ3:     なし     動的ロスパジェットの算出       IOLM     #2     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #2       1%     #1       1%     #1       1%     #1       1%     #1       1%     #1       1%     #1       1%     #1       1%     #1       1%     #1       1%     #1 <t< td=""><td>テスト構成 - PON 2 Split プロパティーリンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・</td><td><b>ters 1x4 1x8</b> 義 iOLM合否判定しき 2:N ージ 1 :</td><td>い値 1:8 <b>マ</b></td><td>ファ 指派</td><td>イバタイプ</td><td>ОК</td><td>**&gt;</td></t<>	テスト構成 - PON 2 Split プロパティーリンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・	<b>ters 1x4 1x8</b> 義 iOLM合否判定しき 2:N ージ 1 :	い値 1:8 <b>マ</b>	ファ 指派	イバタイプ	ОК	**>
IOLM       #2       #1       接続:         アブイパブロパティ 850 nm       1550 nm       エレメント検出         コアサイズ       62.5 µm       9 µm         屈折率       1.496000       1.468325         後方散乱(dB)       -63.10       -81.87         工場出荷時の設定に戻す       114	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・	ters 1x4 1x8	い値 1:8 マ 1:4 マ	<b>7</b> 7 指派	イバタイプ 芝なし	OK	++2
ア部       エブライス:         ファイパブロパティ 850 nm       1550 nm         コアサイズ       62.5 µm       9 µm         屈折率       1.496000       1.468325         後方散乱(dB)       -63.10       -81.87         工場出荷時の設定に戻す       110	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・	ters 1x4 1x8 業 IOLM合否判定しき 2:N -ジ 1: -ジ 2: -ジ 3:	い値 1:8 マ 1:4 マ なし マ	ファ 指え 動的	イバタイプ 芝なし ロスバジェットの算:	ОК	***>
下部     上部       ファイパプロパティ850 nm     1550 nm       コアサイズ     62.5 µm       ロガ率     1.496000       1.496000     1.468325       後方散乱(dB)     -63.10       -81.87     カスタムエレメントを編集       工場出荷時の設定に戻す	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・	ters 1x4 1x8 義 iOLM合否判定しき 2:N -ジ 1: -ジ 2: -ジ 3: #2	い値 1:8 マ 1:4 マ なし マ #1	ファ	イバタイプ Eなし ロスパジェットの算: :	ОК	+++>
ファイパプロパティ 850 nm     1550 nm       コアサイズ     62.5 µm     9 µm       屋折率     1.496000     1.468325       後方散乱 (dB)     -63.10     -81.87       工場出荷時の設定に戻す     1000000000000000000000000000000000000	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・	ters 1x4 1x8 義 IOLM合否判定しき 2:N -ジ1: -ジ2: -ジ3: #2 14	い値 1:8 ・ 1:4 ・ なし ・ #1 1:8	ファ	イバタイプ Eなし ロスパジェットの算: : : : - ライス:	ОК	+++>
コアサイズ     62.5 µm     9 µm       屈折率     1.496000     1.468325       後方散乱(dB)     -63.10     -81.87       工場出荷時の設定に戻す	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ IOLM	ters 1x4 1x8 義 iOLM合否判定しき 2:N -ジ 1 : -ジ 2 : -ジ 3 : #2 1:4 -ジ 1	い値 1:8 マ 1:4 マ なしマ #1 1:8	ファ	イパタイプ Eなし ロスパジェットの算: : ライス:	ОК	+++>
屈折率     1.496000     1.468325       後方散乱(dB)     -63.10     -81.87       ガスタムエレメントを編集       工場出荷時の設定に戻す	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ IOLM 下部	ters 1x4 1x8	い値 1:8 マ 1:4 マ なし マ #1 1:8 1:9 50 nm	ファ	イバタイプ をなし ロスバジェットの算: : : ライス: メント検出	ОК	+++>
後方散乱(dB)         -63.10         -81.87         カスタムエレメントを編集           工場出荷時の設定に戻す	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ IOLM 下部	ters 1x4 1x8 義 iOLM合否判定しき 2:N -ジ 1: -ジ 2: -ジ 3: #2 1:4 -ジ 3: #2 1:5 62.5 µm	い値 1:8 マ 1:4 マ なしマ 第1 1:8 50 nm 9 µn	ファ 酒和 動能 接続 上部	イパタイプ Eなし ロスパジェットの算: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	ОК	**> [ [ [
工場出荷時の設定に戻す	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ IOLM 下部 ファイパプロパティ 8 コアサイズ 屈折率	ters 1x4 1x8 業 IOLM合否判定しき 2:N -ジ1: -ジ2: -ジ3: #2 14 15 62.5 µm 1.496000	い値 1:8 ・ 1:4 ・ なし ・ 第1 1:8 50 nm 9 µn 1.46832	ファ 一 子	イバタイプ をなし ロスパジェットの算 : ライス: メント検出 ロベンド (dB):	ОК	+++>
	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ にしい 下部 ファイパプロパティ 8 コアサイズ 屈折率 後方散乱 (dB)	ters 1x4 1x8 業 IOLM合否判定しき 2:N -ジ1: -ジ2: -ジ3: #2 1:4 1:4 350 nm 15 62.5 µm 1.496000 -63.10	い値 1:8 ・ 1:4 ・ なし ・ 第1 1:8 550 nm 9 µn 1.468322 -81.83	ファ	イバタイプ Eなし ロスパジェットの算 : 'ライス: メント検出 ロベンド (dB): プ	OK 出 出 コスタムエレメン	↓ キャン [ [ [ トを編集
	テスト構成 - PON 2 Split プロパティ リンク定 スプリッタ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ スプリッタ比のステ・ コアリッタ比のステ・ IOLM 下部 ファイパプロパティ 8 コアサイズ 屈折率 後方散乱 (dB)	ters 1x4 1x8 第 IOLM合否判定しき 2:N -ジ1: -ジ2: -ジ3: #2 1:4 -ジ3: -ジ3: 15 62.5 µm 1.496000 -63.10	い値 1:8 ・ 1:4 ・ なし ・ #1 1:8 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1	ファ 酒和 動的 法 天 王 部 マ 酒和 天 丁 酒和 王 の の 、 石 三 の の の 、 一 石 の の の の の 、 一 石 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	イバタイプ Eなし ロスパジェットの算 : ライス: ×ント検出 ロペンド (dB): プ	OK 出 コスタムエレメン 工場出荷時の設	キャン [ [ [ たを編集 定に戻す

測定ファイバに接続されているスプリッタを最大3つまで設定できます。(1x2、1x4、1x8、1x16、1x32、1x64、1x128、 分岐数不明のスプリッタ(1:?)、スプリッタ無しの9つの中から選択が可能です。)上部側に近いスプリッタからステージ1→ス テージ2→ステージ3と順に、設定を行ってください。

また、この画面で『接続数』、『スプライス数』、『マクロベンド(曲げ)の検出しきい値』を設定できます。

## 5.2. iOLM 合否時判定しきい値画面(回線全体のしきい値を設定する画面)

テスト構成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8	テスト構成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8
プロパティ リンク定義 <mark>IOLM合否判定しきい値</mark>	プロパティ リンク定義 <mark>IOLM合否判定しきい値</mark>
認証規格委員会	<戻る カスタムの合否判定しきい値
TIA SEC. C Storida Dispt >	→ カスタムの合否判定しまい値 ■ 第月にとた場合 ● 10 個
ISO/IEC	
例: ISO/IEC 14763-3:2014	
形: 100BASE-FX >	
ANSI Fibre Channel 例: Fibre Channel 12-MH-LE-I (133)	
その他 例: ATM, EN, GB, GOST, JIS, PSM4	
カスタム (1)	
OK キャンセル	OK キャンセル
ティト描成 - PON 2 Solitters 1x4 1x8	
プロパティ リンク定義 <mark>IOLM合否判定しきい値</mark>	
	ムの合合判定しきい値
表示/編集: OS1 ▼ 波長	ファイバセクション リンク損失 - 最大 リンク長
(nm)	減賣 (dB) リンクORL (m)
	(dB/km) 最小 最大 (dB) 最小 最大
1310 1550	28.000 15.00
🗶 しきい値のエレメントへの適用	28.000
法に オペプ マー エリ	メント 最大損失(dB) 最大反射率(dB)
	0.300
コケノク	0.750 -40.0
スプリッタ	1:8 12.000 -40.0
スプリッタ	1:4 8.500 -40.0
工場出荷時の設定に戻す	
	OK キャンセル

リンク長では試験ファイバの長さのしきい値を設定できます。

波長では波長毎のリンク損失とリンク ORL のしきい値を設定できます。(リンク ORL は最大値のみ入力して下さい)

# 5.3. iOLM 合否判定しきい値画面(障害点しきい値を設定する画面)

テスト構成 - PON 2 Splitters 1x4 1x8		テスト構成 - PC	N 2 Splitters 1x4 1x8			*
プロパティ リンク定義 IOLM合否判定しきい値		プロパティ	リンク定義 IOLM合否判	定しきい値		
認証規格委員会		< 乗る		カスタムの合否判定しきい値		
TIA 術: TIA-568-C.3 Inside Plant	>	カスタム 重定リン	▲の合否判定しきい値 ク損失しきい値			>
ISO/IEC 例: ISO/IEC 14763-3:2014	>					
IEEE 例: 100BASE-FX	>					
ANSI Fibre Channel 例: Fibre Channel 12-MM-LE-I (133)	>					
その他 倒: ATM, EN, GB, GOST, JIS, PSM4	>					
カスタム (1) ユーザー定義の値	>					
ок	キャンセル				ок	キャンセル

				THE PROPERTY OF	니브			
長示/編集: ★ 固定リンク損失し	OS1 きい値	•	波長 (nm)	ファイバセクシ 減奏 (dB/km)	ョン リング (d 最小	7損失 B) 最大	最大 リンクORL (dB)	リンク長 (m) 最小 最
■動的ロスパジェッ	ト ントへの適田		1310 1550			28.000 28.000	15.00	
	इ.स.र	7	Ξ <i>ν</i>	メント	最大損	失(dB)	最大	、反射率(dB)
			コネクタ			0.	750	
. ).	皮長を選択	_i	最初					
			スプリッタ1	1:8		12.	000	4
			スプリッタ1	l:4		8.	500	4

スプライス損失(融着損失)、コネクタ損失、スプリッタ損失、コネクタ反射、スプリッタ反射のしきい値を入力できます。画面下部のチェックボックスを選択すると、設定値を全波長共通にできます。

※構成によって『スプリッタ』が表示されません。

## 6. 測定結果の表示

5ページに記載しました試験の開始をすると、光パルスが送出され、一定の時間が経過すると測定が完了します。進捗状況は 画面下部のゲージで確認ができます。また、試験を開始すると自動的に「リンクビュー」画面に移動します。



※選択中のアイコン(エレメント)の詳細が表示されます。

#### ■ 他の試験結果画面

#### <エレメント画面>

	光源	IOLM	リン	クビュー エ	レメント 測	定情報			😢 不合格	iOLM	
	5	マイプ		位置 (km)	損失	(dB)	反射率	(dB)			
					1310 nm	1550 nm	1310 nm	1550 nm		開始	ŝ
	-Σ-			0.0000	0.650	0.498	-54.1	-53.8		<u> </u>	
			۵	0.0000			-54.1	-53.8			ا 😡 ا
				0.0027			-59.1	-61.3			
0		*		0.0137	9.815	9.688		-83.0			F 169754
				0.1172	9.688	9.905				メインメニュ	-
U	-		•	1.9057	1.366	1.052		<u></u>		ファイル	k 🕨
0			0	3.1425			-14.7	-15.1		ユーザの	設定
										テスト構	咸 🕨
										OTDRをお	起動
•フ 損分	ァイ パオ ミは 低反	√適切にス 射率 (AP	₹プラ C)⊐:	イスされてい ネクタが原因	\ることを研 になってい	≌かめてくだ る可能性が∂	さい。 あります。				
Poir	it to Poi	nt						ファイ	ル名: 2_1550 + 1310.iolm	$\odot$	

検知された、全てのエレメントを確認できます。

#### <測定情報画面>

光源	IOLM	リンクビュー エレメント 測	川定情報		区 不合格	iolm	
ファイル3 別定日: 別定ステ- 分析パー テスト構/ ロケーシ モデル: S/N: 校正日:		2_1550 + 1310.iolm 2016/06/08 10:29 完了 8.8.0.15344 PON 2 Splitters 1x4 1x FTB-730-23B-04B-OPM 601111 2011/07/15 (UTC)	к8 12-ЕА			開始 開く アインメニュー ファイル ユーザの設定 テスト構成 OTDRを起動	× #idd :
					I D 設定	<u>a</u> <u>@</u>	
Point to Po	pint			ファイノ	レ名: 2_1550 + 1310.iolm		

測定時の情報が確認できます。

## 7. 画面説明



結果画面の一番上にある線形の図をリンクオーバービューと呼び、リンクの全体を表しています。

[リンクコンポジション]



画面上で、リンクオーバービューの下にある表示をリンクコンポジションと呼び、被測定ファイバの構成を表しています。

#### [グループロス]

測定した各エレメントの距離が近すぎたため、個別のエレメントを特徴づけられない場合にグループロスの表示が行われます。この時、グループ全体のロス、反射が表示されます。



グループロス表示 (各エレメントがグループ化されています。)

合否判定は各エレメントのしきい値の合計値がグループロスと比較され行われます。合計値よりグループロスが大きい場合、不 合格になります。可能な場合は、グループ内の個別エレメントに個別の合否判定も行われます。

#### [エレメントの説明]

<del>باناب</del>		1 波長の測定では検出されません。
田の	~	曲げがある場合に表示されます。
1.5.5%45		出力が足りず、終端が検出できない場合に、表示され
レンシタド		ます。
スプリッタ		スプリッタがある場合表示されます。
フプニノフ		ファイバの接続がある場合に表示されます。
XJ J1X		曲げの存在が見受けられるときに表示されます。
コネクタ		コネクタ接続がある場合に表示されます。

# 8. データ保存とレポート作成

1. 測定後、画面右側の「ファイル」をクリックします。



- 2. 目的に合わせて以下の4つから選んでください。
  - 保存する場合、「保存」(所定の場所に保存されます。\*)
  - 名前を付けて iOLM ファイルを保存する場合、「別名で保存」
  - 名前を付けてベルコアファイルを保存する場合、「エクスポート」
  - レポート出力する場合、「レポート」を選択して下さい。(PDF もしくは MHTML 形式ファイル保存が可能)

※「保存」をクリックした時のファイル保存先は、「ユーザの設定」→「一般」で変更可能です。

初期: ¥Data¥My Documents¥iOLM

	-般 レポート		
ID	- 🗶 ファイル機能 -		ノアイル保
テスト構成	\DATA\My Documen	its\iOLM	
ユーザの設定	Bellcoreファイル 保存時にレポー	を保存にエクスポート [ へを作成	<ul> <li>測定の目動保存</li> <li>X 合格した場合のみ</li> </ul>
OTDRを起動	機能		
	<ul> <li>第 首によるお知らて</li> <li>ママイパセクション</li> <li>累積損失</li> </ul>	* a >	
	距離の単位:	m (メートル) ・	工場出荷時の設定に戻す

- 別名で保存 📝 😥 🗾 📰 ок × 光源 🔍 \Data\My Documents\iOLM 名前 サイズ 種類 更新日時 **H** (2) . 05\_1550 + 1310 1.08MB iOLM file 2016/10/17 15:28 a 1\_1550 + 1310 a 2\_1550 + 1310 2015/04/07 8:15 2015/05/17 15:47 970KB IOLM file 1.14MB iOLM file × 2\_1550 + 1510 2\_1550 3\_1550 + 1310 位置 390KB iOLM file 2015/04/26 13:55 629KB iOLM file 2016/10/04 17:37 構成 aa 3\_1550 291KB IOLM file 2015/04/26 13:58 a 6\_1550 + 1310 824KB iOLM file 2016/10/26 10:30 7 1550 + 1310 416KB IOLM file 2016/12/06 15:08 長さ ファイル名 2.1550 + 1310 種類 iOLMファイル(\*.iolm) キャンセル V OK • 1 2 3 4 5 7 8 9 0 Esc 6 = + W е y р Home End q r t u i. 0 1 -Enter d а f k Caps S g h I i 1 ٧ b 1 Ζ С n m 公 公 Х 1 Ctrl Alt Ins Del ł
- 3. 名前を付けて保存する場合とレポート出力の場合は、下画面に移動します。

4. 必要があれば、ファイル名を入力して「OK」を押し、完了となります。

# 9. 光源機能(モジュール)

- ① 左上のタブで**光源**を選んで下さい。
- ② 画面左側の「オン/オフにする」でオン、オフを切り替えられます。波長で使いたい波長を、変調で各種変調を選ぶことができます。







# 10. データの取り出し

本体に保存した測定結果データを USB メモリにコピーする方法は、2 通りの方法があります。

- Data Mover を使用したデータの取り出し
- File Manager を使用したデータの取り出し

以下に各方法の詳細手順を示します。

## 10.1. Data Mover

1. 本体(MAX-7xxC)の電源 ON 後、Data Mover を起動させます。

MAX-720C-Q1-EA-EI-	RF	2019/04	/11 11:37		<b>2</b> † 🗎
	<b>*</b> •		**	Q	
OTDR	iOLM	ConnectorMax2	Power Mater - VFL	File Manager	Data Mover
4					
Configuration	Documentation	Internet Explorer	VNC	FIP	EXFO Connect Client CE
		and the second			
TestFlow					

2. Data Mover 起動後、USB メモリを本体上部に実装します。



#### < Data Mover 画面 >

Source folders:	Data Mover
Data\My Documents	Main Menu Copy
	User Preferences
Destination media:	
\Removable Disk	
1	
Press "Copy" button to copy the files to the destination media.	
	(1) (1) (2) (2)

USB メモリが認識されると『Removable Disk』と表示されます。 ※表示されない場合は、USB メモリの接続を確認してください。 3. 画面上部の Source Folders の Data¥My Document にチェック(×)を入れて Main Menu の Copy をクリックしま す。Data¥My Document フォルダ内のデータが全て USB メモリにコピーされます。 USB メモリ内には、日時でフォルダが 作成されます。

デフォルトでは、測定結果は、¥Data¥My Document 配下のフォルダ(iOLM/OTDR/Screenshots)に保存されます。



#### < Data Mover 画面 >



## ※ Data¥My Document 配下には、以下のフォルダが存在し、測定結果が保存されま

- す。(デフォルトの保存フォルダ)
- (1) CMAX2: ConnectorMAX2(端面検査)の測定結果保存フォルダ
- (2) iOLM: iOLM 測定結果保存フォルダ
- (3) OTDR: OTDR 測定結果保存フォルダ
- (4) Screenshots: スクリーンショット(プリントスクリーン)保存フォルダ

#### ※ USB メモリには、日時ごとのフォルダで保存されます。

1 2016-12-06_13-08-41	2016/12/06 13:08	ファイル フォルダー
12016-12-06_13-09-03	2016/12/06 13:09	ファイル フォルダー
1016-12-06_13-17-06	2016/12/06 13:17	ファイル フォルダー
1016-12-06_13-19-29	2016/12/06 13:19	ファイル フォルダー

- 4. 特定のフォルダを保存する場合は、以下の方法で実行します。
  - 1) Mein Menu の User Preferences をクリックします。

Source folders:		Data Mover
Data\My Documents		Main Menu
		Сору
	User Preferences	User Preferences
Destination media:		
\Removable Disk		
Press "Copy" button to copy the files to the destin	nation media.	
		1 3

2) Add a Folder をクリックします。

Source folders:				Data Mover 🚊
Data\My Documents				Main Menu
	User Preferences			Сору
				User Preferences
Destination media:				-
\Removable Disk	Add a Fold	der		
	Add a Folder	Remove Folder	Close	
Press "Copy" button to con	w the files to the destination m	nedia.	ц	
	y are mes to the destinution in	icola.		<u> </u>

3) コピーするフォルダを選択して OK をクリックします。

Source folders:		Data Mover
Data\My Documents		Main Menu
	Iser Preferences	Сору
Ī	フォルダ参照	User Preferences
	フォルダ選択	
estination media:	- COTDR - CotDR - CotDR	-
\Removable Disk	E-C Samples	
	Add a	
		-
Press "Copy" button to copy	he files to the destination media.	
Press "Copy" button to copy	he files to the destination media.	

4) 選択したフォルダを確認して Close をクリックします。追加したいフォルダ他にある場合は、再度 Add a Folder をクリ ックして、フォルダを選択します。

Data\My Documents User Preferences UDATA\My Documents\i0LM	Main Menu Copy User Preferences
User Preferences	Copy User Preferences
\DATA\My Documents\iOLM	User Preferences
選択したフォルダ	
keemovable Disk	

5) Source Folder に追加したフォルダが表示されます。コピーしたいフォルダにチェック(×)を入れて Main Menu の Copy をクリックします。コピーが実行されます。

in Menu Copy
Copy
for Droforoncor
ser Preferences
ର 🧑 👩

## 10.2. File Manager



1. 本体(MAX-7xxC)の電源 ON 後、File Manager を起動させます。

File Manager 起動後、USB メモリを本体上部に実装します。
 ※ File Manager は、パソコンのエクスプローラーの操作とほぼ同じです。



USB メモリ実装個所

#### < File Manager 画面 >

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 移動(G) お気に入り(A) 🕢 🔊 🔀 💽 🗸	×
アドレス(D) \Data	*
Home iOLM My Samples	
Screen Documents	
ジェントでの iOLM/OTDR/Screenshotの保存場所は 以下の通りです	t.
	, o
OLM: ¥Data¥My Document¥iOLM	
OTDR: ¥Data¥My Document¥OTDR	
Screenshot: ¥Data¥My Document¥Screenshot	
Screenshot. +Data+Ny Document+Screenshot	

フォルダアイコンをクリックして保存先のフォルダに移動します。ファイルを選択して、コピーを実行します。
 コピー方法は、ファイル選択時に長押しするとマウスの右クリック状態となり、サブメニューでコピーを選択する方法と、ファイル選択後、File Manager 画面上部の『編集』→『コピー』を選択してコピーする方法があります。



4. コピー後、USB メモリのフォルダに移動します。USB メモリ移動後、長押しまたは、画面上部のメニューから貼り付けを選択してデータを USB にコピーします。



# 11. 仕様

項目	仕様
プラットフォーム仕様	
ディスプレイ	7 インチ 800×480TFT 液晶
インターフェース	USB2.0 ポート×2、RJ45LAN10/100Mbps
ストレージ	2GB 内蔵 (OTDR トレース 20,000)
バッテリ	充電式リチウムイオン電池 (12 時間動作)
電源	100-240VAC 50-60Hz
サイズ	166mm(高さ)×200mm(幅)×68mm(奥行)
重量	1.5kg
動作環境	-10°C ~ 50°C
保存環境	-40℃ ~ 70℃
相対湿度	0 ~ 95% RH (但し、結露しないこと)
MAX-720C: iOLM/OTDR 仕様	
波長(nm)	850±20/1300±20/1310±20/1550±20/1625±10
ダイナミック・レンジ(dB)	27/29/36/35/35
イベント・デット・ゾーン(m)	SM:0.7, MM:0.5
減衰デット・ゾーン(m)	SM:3, MM:2.5
PON デット・ゾーン(m)	35
波形表示レンジ(km)	SM:0.1 ~ 260, MM:0.1 ~ 40
パルス幅(ns)	SM:3 ~ 20,000, MM:3 ~ 1,000
リニアリティ(dB/dB)	±0.03
ロス閾値(dB)	0.01
ロス分解能(dB)	0.001
サンプル分解能(m)	SM:0.04 ~ 10, MM:0.04 ~ 5
サンプル・ポイント	256,000 以下
距離不確実性	±(0.75+0.0025%×距離×サンプル分解能)
測定時間	任意 (最大:60分)
反射確度(dB)	±2
リアルタイムリフレッシュ(Hz)	4
SM ライブポートビルトインフィルタ	1625nm : ハイパス > 1595nm
	アイソレーション > 50dB 1270~1585nm
MAX-720C: 光源	
出カレベル(dBm)	SM:-6.0, MM:-3
変調	CW, 330Hz, 1kHz, 2kHz, 1kHz+blink, 2kHz+blink

MAX-730C: iOLM/OTDR 仕様	
波長(nm)	1310±20/1550±20/1625±10/1650±5
ダイナミック・レンジ(dB)	39/38/39/39
イベント・デット・ゾーン(m)	0.5
減衰デット・ゾーン(m)	2.5
PON デット・ゾーン(m)	30
波形表示レンジ(km)	0.1 ~ 400
パルス幅(ns)	3 ~ 20,000
リニアリティ(dB/dB)	±0.03
ロス閾値(dB)	0.01
ロス分解能(dB)	0.001
サンプル分解能(m)	0.04 ~ 10
サンプル・ポイント	256,000 以下
距離不確実性	±(0.75+0.0025%×距離×サンプル分解能)
測定時間	任意 (最大:60分)
反射確度(dB)	±2
リアルタイムリフレッシュ(Hz)	4
SM ライブポートビルトインフィルタ	1625nm : ハイパス > 1595nm
	アイソレーション > 50dB 1270~1585nm
	1650nm : ハイパス > 1650nm±7nm
	アイソレーション > 50dB 1650nm±10nm
MAX-720C: 光源	
出力レベル(dBm)	-2.5
変調	CW, 330Hz, 1kHz, 2kHz, 1kHz+blink, 2kHz+blink

